

わっこ
Take out グルメ
泡盛
こまえ〜る

泡江の特産品であるえだまめを使った「こまえ〜る」は市内の酒店と若手農家が共同で開発した発泡酒で、泡江市観光協会推奨商品の第1号となっている。えだまめの風味が生きたさわやかな飲み口が特長で、昨年発売されると大きな反響を呼び、これまでに1万本を販売した。



こまえ〜る

開発したのは、駒井町にある(有)秋元商店専務の秋元慈一さん(33)と、駒井町で農業を営む松坂諭さん(30)、高橋一真さん(27)、高橋庸之さん(26)。4人は一昨年「泡江野菜を広める会」を結成。えだまめの発泡酒を作ろう



「こまえ〜る」を開発した4人

泡江にエールを送るという意味を込めて「こまえ〜る」と名付けた。ことしもメンバーの畑で収穫したえだまめを使って約3,000本の「こまえ〜る」を製造、えだまめ祭りから販売される。「こまえ〜る」は市内の酒店など12店と飲食店8店で扱っており、310ml瓶入りで酒店の店頭販売価格462円(税込み)。秋元さんらは「今後はさらに味こまめをかけ、泡江のみやげとして広めてい

えだまめの風味を生かした発泡酒

と、新潟市の新潟麦酒(株)に試作を依頼した。出来が良かったため商品化を決め、メンバーが栽培したえだまめを使って量産に入った。きたい」泡江のえだまめのおいしさを多くの人に知ってもらおうきっかけになれば」と話し、多摩川川かたレースなどイベント会場で販売するなどPR活動に力を入れていくという。問い合わせは☎3480-8931(有)秋元商店内泡江野菜を広める会事務局。

8・9日にえだまめ祭り

泡江の特産品であるえだまめを特価で販売する「えだまめ祭り」が8日(月)・9日(火)午前9時から(売り切れ次第終了)マインズショップ泡江店駐車場で開催される。当日は、えだまめや「こまえ〜る」、「えだまめアイス」を販売する。えだまめの購入者には抽選で「えだまめアイス」、鉢花、切り花をプレゼント。ジャガイモとタマネギの詰め放題の販売も行う。問い合わせは☎3488-3435JAマインズショップ泡江支店経済課。

ひらがれ
絵手紙の輪



開智律子さん(東和泉)
この絵手紙に込めた思い「子どもの頃よく熱を出していた兄。人づてにドクダミを煎じて飲むと体に良いと聞いた母が、毎日ドクダミを煎じて兄に飲ませたところ、日々元気を取り戻し、熱も出なくなったとニコニコ顔で語っていました。毎年ドクダミの花が咲く時期に、母の笑顔が思い出されます」

泡江の特産品として人気、恵みの雨で生育順調

えだまめ

泡江の特産品として親しまれているえだまめ。泡江市内では多くの農家が栽培しており、初夏から晩夏にかけて出荷する。



えだまめを収穫する小川さん親子

「ポロミドリ」「織姫」など7種を育て、5月下旬から9月中旬まで約2haを直売所(猪方3-3-5)、JAマインズ、市内のスーパーなどで販売している。以前はさまざまな野菜を栽培し市場に出荷していたが、えだまめの人気が高かったため、夏はえだまめを主力にすることにし、平成17年には収穫用の機械を

導入、直売中心に切り替えた。ことは春先に雨が少なかったため生育が心配されたが、6月中旬の雨で粒が大きくなり順調に育っているという。小川さんによると、実が大きく、サヤの色が鮮やかで表面の細かい毛が立っているものが良く、枝付きの場合は葉がみずみずしいものを選ぶと良いという。小川さん方は、息子の邦彦さん(28)で6代目になり、現在は泡江の畑で野菜を栽培するほか、茨城県にある約100%の畑でサツマイモやジャガイモを育てている。4年前にサラリーマンを辞めて農業を始めた邦彦さんとともに、新しいえだまめの研究や消費者のニーズの調査に熱心に取り組んでいる。芳文さんは、「最近新しい品種にもすぐ気づく人も多く、『おいしい』と喜んでもらうと励みになります」と話している。

旬菜

夏の炎天下で田の草取りに汗流す

昭和33年7月の西野川1丁目付近にあった水田での草取り風景(写真右)。後方左側は八幡神社付近。写真の田を所有していた鈴木茂男さん(86)によると、この頃は野川の改修がまだ行われておらず、地元の人「大川」と呼んでいた。野川から幅約2mの



用水路を引いて農業用の水を取っていた。しかし、野川の水量が年によって大きく変わるため、水の確保に苦労したという。夏の草取りは稲の生育にとって欠かせない作業だが、農家にとっては炎天下での厳しい労働だった。草取りをするときは、稲の根を傷つけずに雑草の根を抜くために田へ水を多めに張り、それぞれの農家が個別に草取りを行った。しかし、33年は田にひびが入るほどの深刻な水不足

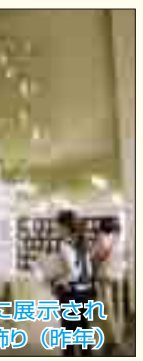
泡江の肖像



に見舞われたため、周辺の農家と共同で作業を行い、草取りをする田に水を多めに張って終わると別の田に水を流すという方法がとられたという。この時の水の注水や排水には移動式のポンプ(写真左)が使われた。しばしば水不足に見舞わ

市役所に絵手紙七夕飾り

市役所ロビーに絵手紙をつるした七夕飾りが展示され、訪れた人の人気をよんでいる。笹竹に、全国の絵手紙サポーターや「絵手紙発祥の地-泡江」実行委員会の委員がかいた絵手紙の短冊をつるしたもの。市役所を訪れた人たちは、飾られた絵手紙を熱心に鑑賞し、季節の行事を楽しんでいた。



ロビーに展示された七夕飾り(昨年)